

第5期

兵庫県阪神北地域ビジョン委員会 活動報告書



伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町

こんな活動をしてきました



多世代交流グループ“じばヤング”



みんなでランラングループ



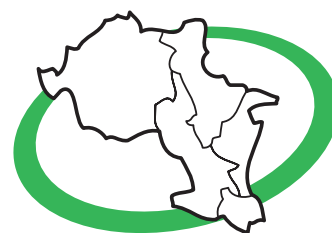
めだかグループ



地域活動のしくみづくりグループ



水グループ



みどりの環グループ



らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ



こどもと地域の環境会議グループ



であいたいグループ

目次

- ◆委員会概要 2
- ◆あいさつとメッセージ 3
- ◆グループ活動報告 4～13
- ◆地域夢会議報告 14
- ◆全体活動報告 15
- ◆委員等名簿 16



シンボルプロジェクトグループ



広報部会

阪神北地域ビジョン委員会の概要

平成13年に、美しい兵庫をめざす「21世紀兵庫長期ビジョン」の一環として、地域の将来像を描く阪神地域ビジョン「阪神市民文化社会ビジョン」を策定し、「新しい公」の時代をめざして、基本理念と4つの行動目標を定めました。続いて、新設の阪神北県民局のもとで、ビジョン実現へ向けて阪神北地域ビジョン委員会を発足しました。そして、取り組み指針として「阪神北地域ビジョン推進プログラム」を5か年計画で策定しました。平成18年には、「第2次阪神北地域ビジョン推進プログラム」を策定し、シンボルプロジェクトを追加しています。

地域ビジョン委員会は、任期2年のビジョン委員約100名が委嘱されて組織し、現在は、平成21年度からの第5期が実践活動を行っています。ビジョン委員会の組織は、委員長・副委員長、外部からの専門委員など、会議としての全体会など、および、行動目標の分野とシンボルプロジェクトに分けて編成した活動グループからなります。また、地域のみなさまと、地域夢会議や地域見本市を運営して交流しています。

現在、阪神北地域ビジョン委員会では、第5期の実践活動を行うとともに、阪神南地域ビジョン委員会と共同で地域ビジョンを見直しています。

ビジョン委員会の歩み

H13.2	地域ビジョンの策定
H13.4	阪神北県民局の設置
H13.9	地域ビジョン委員会の発足
H14.3	推進プログラムの策定
H18.3	第2次推進プログラムの策定
現在	第5期ビジョン委員会の活動と地域ビジョンの見直し

ビジョン委員会の組織

委員長、副委員長
全体会、企画調整部会、広報部会
活動グループ
専門委員、アドバイザー、オブザーバー
(事務局) 阪神北県民局地域企画課

行動目標の分野と活動グループの編成

グループ名

活動目標

第1分野「多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる」



多世代交流「じばヤング」

「世話焼き」の育成と「昔の遊び」による交流広場の提供

第2分野「自律と協働による温かいコミュニティをつくる」



みんなでランラン

明るく楽しく健康的なコミュニティづくりのお手伝い



めだかグループ

心通える居場所づくりで感動の輪をひろげていきたい



地域活動のしくみづくり

「向こう3軒両隣でつながるミニコミュニティ」の実現

第3分野「自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する」



水グループ

とことん水にこだわり、水環境を考える



みどりの環

阪神北地域における「みどりを知る」



らぼ・こどもと・ゴミ環境

心地良い環境との空間を創造し、交流しよう



こどもと地域の環境会議

子どもたちが地域との関わりの中で、環境問題を正しく学ぶ

第4分野「豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する」



であいたい

地域資源の情報発信と阪神南地域を含めた交流の促進

シンボルプロジェクト「活力と潤いの生活空間再発見事業」～人が出会えば、地域が動く～



シンボルプロジェクト

「育もう！地域の夢と未来、私たちの絆」を合い言葉に

ごあいさつ

第5期 兵庫県阪神北地域ビジョン委員会は、「楽しんで活動しよう!」「振り返った時、やって良かったな」と、言えるようにしよう」を合言葉に、ビジョン活動に取り組んできました。

これからも「阪神市民文化社会の創造」をめざし、ゆとりある地域づくりをしていきたいと思っています。

伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町の皆さん、応援していただきありがとうございました。引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。

第5期阪神北地域ビジョン委員会委員長 内田 勝雄



専門委員メッセージ

大手前大学 現代社会学部 准教授 芳田 茂樹

近頃よく「絆」ということばを耳にする。国語辞典では「人と人との断つことのできないつながり」とあるが、今よく耳にするのは、結ばれている絆をより強くしたいというものなのか、それとも結ばれていない絆を求めているのだろうか…。

地域ビジョン委員会の活動はというと、人や自然、地域と「ひと」との結びつきをテーマに活動しているようだ。

つまり、いろいろな分野・角度から人と人との結びつき、つよい「絆」を大切に『こころ豊かによりよく生きること』をめざしている。

地域ビジョン委員会とは、そのような結びつきを大切に活動している集まりだと我ながら実感している。



兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教 藤本 真里

阪神淡路大震災から16年が経ちました。地域の仲間と協力する力の大きさを実感している阪神地域が打ち出す「新しい公」には強い信念があります。21世紀日本の構想「日本のフロンティアは日本の中にある」(2000年)では、「自分の所属する場にとらわれず、自分の意志で、意識的に社会へかわり合うことで新たに創出されてくる公である。多様な他者の存在を許し、思いやり、他者も支える公である。」としています。これらの言葉に立ち返りながら実践を続けたいと思います。



関西学院大学大学院 総合政策研究科 教授 今井 一郎

私は、日本で進んでいる少子高齢化と人口減少を否定的にとらえるだけではなく、その中で可能性を追求することが快適な将来をもたらすはずだ、と思います。

第5期ビジョン委員会の活動の中で得られた数々の成果を相互に連携させることから、快適な地域生活が紡ぎ出されるはずです。それは、積極的に希望を出して議論を深め行政府に提言することによって実現に一歩近づくのです。



神戸国際大学 経済学部 教授 滋野 英憲

阪神北地域の魅力を再発見するための地域探訪を行うとともに、新たに発見された魅力をより広域に広げていこうとする試みとして、阪神南地区の人々との交流を促進し地域イメージの向上に努めることは今後の交流人口の増加につながり、地域経済の活性化にも寄与するものと考えられます。

今後は、阪神北地域の魅力をそれぞれの地域に居住する人々が中心となる形で、世代を越えて多くの人々が楽しめるイベントを含んだ人的交流の場を増やし、地域内外に効果的に情報発信できる仕組みづくりを進めてもらいたいと思います。



県民局長メッセージ

本年、阪神北地域ビジョン委員会と阪神北県民局は、ともに10年目を迎えました。これまでの10年間、様々な場面で参画と協働が進み、阪神北地域の特色ある「市民力」はますます向上してきました。

そして今、家族の絆、地域の絆、社会の絆が強く求められる中で、市民力の要となるビジョン委員会の活動の輪がさらに広がり、地域に浸透していくことが期待されています。

今後とも地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

阪神北県民局長 森 哲男





多世代交流 “じばヤング” グループ

活動目標

多世代交流の「世話焼き」の育成と「昔の遊び」による交流広場の提供

活動内容

多世代交流会

- 平成 21 年 9 月 26 日 丹波市にてナルク丹波主催
『丹後ごんげんさん・子ども冒険広場』見学
- 平成 22 年 1 月 28 日 大手前大学（伊丹市）にて
『大学生と語ろう会』
- 平成 22 年 3 月 16 日 伊丹市子育て支援センターにて
『子育て中のお母さんと語ろう会』
- 平成 23 年 2 月 3 日 大手前大学（西宮市）にて
『大学生と語ろう会』



ふれあい実践活動



「昔の遊び」コーナーを設け、竹ぼっこりや牛乳パックを使って万華鏡・紙トンボ・ふんぶんゴマなど手づくりおもちゃを作ったり、コマ回しで初対面の人との交流を深めました。

- 平成 21 年 11 月 7・8 日 大手前大学・学園祭参加
- 平成 21 年 11 月 15 日 三田市まちづくり協働センターにおける「地域見本市」に参加
- 平成 22 年 7 月 17 日 三田市「ふれあい七ようまつり」に参加
- 平成 22 年 10 月 17 日 県立有馬富士公園共生センターにおける「ふれあいの祭典」に参加
- 平成 22 年 11 月 13・14 日 大手前大学・大学祭参加
- 平成 22 年 11 月 21 日 猪名川町中央公民館における「地域見本市」に参加



ゆっくりと時間が流れます



「こうして回すんだよ」



コマ回しは男の子に大人気

2 年間を振り返って

今期は、子育て支援グループと一緒にしたことを受けて、前期からの継続事業を中心に、その活動内容の対象を広げた。この結果、「語ろう会」では子育て中のお母さんとの交流が実現した。

「昔の遊び」では、新たに大学祭と地域のまつりへの出店を加え、あっという間の充実した 2 年間でした。何よりも息の合った気のいい仲間との楽しい経験ができたことが嬉しかった。

2

みんなでランラングループ

活動目標

明るく楽しく健康的なコミュニティづくりのお手伝い

活動内容

地域の各種施設に「お笑いと癒やし」の演芸(歌に踊り腹話術など)バラエティショーを宅配しました。

とき	ところ	概要・参加者
H 21.11.15	三田「キッピーモール」	ビジョン地域見本市に出演
H 22. 3.13	伊丹「グリーンアルス」	介護施設入所者約 80 名
H 22. 3.26	伊丹「ボンセジュール」	老人ホーム入所者約 40 名
H 22. 6.10	宝塚「小林コミュニティ」	コミュニティサロン約 33 名
H 22. 7.25	宝塚「福井鉄筋復興住宅」	コミュニティサロン約 30 名 ※ビジョンめだかGとコラボ
H 22. 7.31	伊丹「特養オアシス千歳」	デイサービス来所者等約 45 名
H 22. 8.14	伊丹「南町高層住宅・夏祭り」	地区夏祭り大会に出演 ※ビジョンめだかGとコラボ
H 22. 9.18	宝塚「はーとふるセゾン」	入所者等来所者約 40 名
H 22.10.16	伊丹「特養オアシス千歳」	入所者等来所者約 40 名
H 22.11.21	猪名川「生涯学習センター」	ビジョン地域見本市に出演
H 23. 1.16	伊丹「神津福祉センター」	入所者等来所者約 45 名
H 23. 2.16	伊丹「神津福祉センター」	デイサービス来所者約 40 名



活動を振り返って

- ・公演を終えると大きな拍手を頂き、皆さんの笑顔に接することができました。「また頑張ろう」という充実した気持ちになりました。
- ・どの地域、どんな施設でも「ふれあい」が大切だと痛感しています。
- ・これまでの活動を通して出会った「ボランティア仲間」との輪を広げていければよかったと思っています。

活動目標

人とひとをつなぎ、心通える居場所づくり、そんな活動をされている皆さんと感動の輪をひろげていきたい

活動内容

1 地域活動のお手伝い

* ペットボトルで、水ロケットを作って飛ばそう



* 夏祭りの企画・運営・進行

震災から15年
記念事業



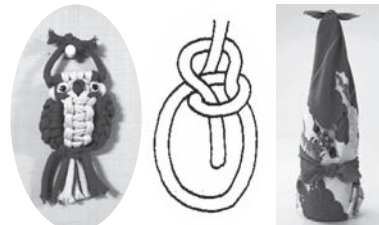
* 「笑いヨガ」の体操で健康づくり



* 暗やみの絆



* 風呂敷の活用・紐結び



2 障がいがあっても自立しようとしている人達や、男性介護にも目を向けてみよう

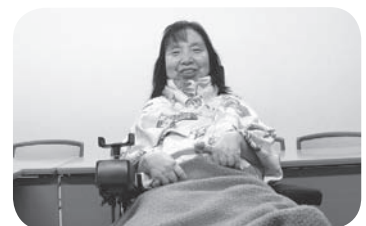
- * 映画「こんちくしょう」(障がい者自立生活運動の先輩達の記録映画)の鑑賞と話し合いに参加。
- * 車椅子講習会・体験。
- * 丹波地域の振興、町おこし、観光資源の観察モニターに参加(車椅子の方と一緒に)。
- * 認知症家族をかかえる男性介護者のビデオ研修。



男性介護のビデオ研修

障がいをもちながら、めだかグループの一員として活動

ビジョン委員会の活動は、車椅子での参加が大きな課題でした。交通機関や会場(トイレ等)の問題、人の手だけでは抱えられない電動車いすは、活動の参加に色々制限が伴います。最近はバリアフリー法などにより、地域づくりが盛んに行われていますが、現実はまだまだ不便で、不自由な環境でいっぱいです。すべての人が関われる社会づくり、「してあげる」「してもらう」「保護」されるだけの立場ではなく、共に生きられる社会をめざしていきたいと思えます。個人的には三田で障がい当事者を中心とした、「自立生活センター三田」の市民活動の代表をしています。



これからもこうした機会があれば参加して皆さんと一緒に共生社会をつくっていきたく願っています。 吉田みち



地域活動のしくみづくりグループ

活動目標

「向こう3軒両隣でつながるミニコミュニティ」の実現に向けて

活動内容

私たちのグループは第4期に引き続き、「災害時要援護者支援制度」に着目。共助のシステムがつくられていく中でできる、近隣のつながりについて考えてみました。

自分が暮らすまちが安心して暮らせるまちかどうか、と考えてみました。

まず直面するのは、まちのことを何も知らないという驚きです。もっと切実なのは、お隣さんやご近所さんのことを知らないということです。しかし、災害時は「自分の身は自分で守る」ことが鉄則です。

そこで私たちは、行政側から求められてつくるのではなく、住民の立場で共助のシステムをつくろうという思いから、今期は、メンバーが暮らす地域で、その事情に合わせたシステムづくりを始めました。

例えば、近隣の公園を清掃するグループを助け合いのグループとして活用できないか？ 同じゴミステーションを利用するグループを助け合いのグループとして活用できないか？ 公園の花壇整備グループ、野菜の共同購入のグループなど

など、いくつものケースが考えられます。メンバーがご近所さんであれば、既存のグループが共助のグループとして活用できるわけです。あらためて組織をつくるのではなく、既に見知った仲間が共助のシステムをつくれれば、そこには既に気持ちが存在しますから、充分力を発揮することが期待できます。このようなグループがご近所で重なりあうことで、隣近所でお互いに助け合う「ご近所力」ができてきます。

メンバーはそれぞれの地域で、先ず声を掛け合うことから始めています。地域のコミュニケーションは声を掛け合い、あいさつを交わすところから始まります。



救急ツールの一例

活動を振り返って（あるメンバーの感想より）

私は68歳（男性）。「住み続けたいまち」とか「終の棲家」について、今までになく深く語り合える人生経験豊かな仲間に出会えたことが、この活動に参加した一番の収穫でした。

「住み続けたいまち」とは、若い世代には「便利で活気あるまち」、中高年になると「新たなふれあいに出会えるまち」、さらに年を重ねたり、一人暮らしになると「日々安心して暮らせるまち」と世代ごとに差があるでしょう。しかし、世代も含めて、わがまちオリジナルの「向こう3軒両隣ミニコミュニティ」の実現に向けて、これからも楽しみながら、できるところから始めていこうと思います。

活動目標

とことん水にこだわり、水環境を考える

活動内容

私たちは、2年間で27回の会合を持ちました。そのうち、12回は、フィールドワークです。この活動は、「夢じゃーなる」に紹介していますが、この度、小冊子「活動レポート」を発行し、まとめて報告しています。

また、委員会全体や他グループの催しにも、積極的に参加し、楽しく活動しました。



水の探訪12選

地域の水資源を訪ねて

1 神戸市 水の科学博物館	水の基礎知識を学ぶ
2 兵庫県企業庁 三田浄水場	県営水道の役割を知る
3 水資源機構 一庫ダム	水源のダムを見学する
4 伊丹市 千僧浄水場	高度浄水施設を訪ねる
5 宝塚市 水質試験所	水質試験の大切さを知る

地域の水環境を訪ねて

6 北摂の峡谷めぐり(1)	蓬莱峡・白水峡・金仙寺湖
7 北摂の峡谷めぐり(2)	鎌倉峡・千刈ダム
8 武庫川の上流域	川代ダム、田松川、武庫川起点
9 猪名川の下流域	景観・地勢と史跡
10 武庫川のさくら回廊	三田市“さくら回廊ウォーク”
11 猪名川源流の大野山	猪名川町“あじさいまつり”

世界の水事情について学ぶ

12 アフリカの水事情	今井先生の講演会
-------------	----------

感想

水グループは8名、毎回ほぼ全員参加で、和気あいあいと行動しています。フィールドワークは、水環境をウォーキングで探訪しました。平均10kmを歩き、健康寿命も延びると思います。任期1年延長で、さらに楽しく活動できることを喜んでいます。





みどりの環グループ



活動目標

阪神北地域における「みどりを知る」

活動内容

兵庫県阪神北地域は伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の4市1町から構成され、今回、広域的な見方で「みどりを知る」ところからはじめた。

私たちのグループは、身近な「みどりの資源」を自らの目で確認し、感じて、触れてほしい箇所を創造し、できるだけ多くの人に伝えられたらとの思いから、下記の項目を中心に活動し、資料をまとめた。

■ 巨樹・巨木・気になる木

県、各市町指定の天然記念物、兵庫巨樹・巨木100選、北摂巨木30選など多くの樹木が見られた。現在、巨樹等は社寺の杜を中心に多くあり、幹回り10m以上、樹高30m以上、樹齢800年以上を超えるものも存在する。今後、身近な巨樹・巨木を見守り、将来は学校、公園および公共施設等に植樹して、地域のシンボルツリーとして、末永く見守っていきたい。

■ みどりの公園

公園の面積は市町によってかなりの差がある（市街地は極端に少ない）。公園都市、庭園都市など掲げていて、地域特性を生かした素晴らしい県立公園も整備されている。せっかく身近にみどりの公園があるので、ぜひもっと利用してほしい。

■ 社寺の杜

この地域には歴史的に多くの社寺（社叢）が残っており、保護樹、環境保全地域に指定された鎮守の森など懐かしさを感じさせる箇所も多い。御神木、名木に親しみ、見直してほしい。

■ 里山・ふれあいの森・緑地

都市部より少し足をのばすと、里山、ふれあいの森、緑地、河川敷などみどりに親しむところが多くある。自然とのふれあいを楽しんでほしい。

■ みどりの自然歩道・散策道

各市町や観光協会などが推奨する遊歩道、散策道のコースが設定されている。春や秋の行楽シーズンには森林浴、バードウォッチングなどの健康ハイキングを満喫してほしい。



現地調査（宝塚市武庫川クスノキ）



最大の巨木（川西市小戸神社大クスノキ）

おわりに

今回の活動で身近に素晴らしい「みどりの資源」があることに驚いた。しかし、住民は余り認識してないように感じられ、もったいないと思う。

今後、みどりの資源を多くの人に活用してもらえることを願っています。



情報発信（宝塚市花と緑のフェスティバル）

活動目標

心地良い環境との空間を創造し、交流しよう

活動内容

【ダンボールコンポスト講習会】2010年8月26日
 (伊丹市公設卸売市場内「スマイル阪神」40名参加)

伊丹市より、ダンボールコンポスト講習会の依頼がありました。
 市民農園での利用促進を契機に、環境保全型農業を通じて、市民の都市農園への理解を深めることを目的として開催されました。
 講習会終了後の意見交換会では、さまざまな意見が出され、とても有意義な講習会となりました。



【世界田植え選手権】2010年5月30日
 (三田市東本庄 80名参加)



【世界稲刈り選手権】2010年10月10日
 (三田市東本庄 60名参加)



両日は天候に恵まれ、県立有馬高校の学生さんをはじめ、一般参加の方々に、第3回の両選手権を開催しました。(2008年度：第1回、2009年度：第2回)
 私たちに一番身近な土、そして人との関わり、心地の良い土との空間を過ごしました。

【らぼグループの関西学院大学生による「私が思う現在農業」と題した講演会】2009年10月25日
 (三田市キッピーモール6F 1~3部約400名参加)

学業を一時休学し、農家で田畑を借りて農業を地元の方に教わり、その過程で味わった、困難さ・楽しさ・満足感や、この先このまま続けられるか、といった悩みなどを話しました。会場からは、今後の食糧問題について質問が出るなど、真剣な話し合いになりました。



これからの目標

当グループはビジョン委員会活動だけでなく、2007年7月「ECO こどもとの空間」グループを設立。また、2010年4月には、阪神北「ECO クリーン隊」を設立し、当グループをはじめビジョン委員とともに阪神北4市1町内で枯れ葉集めを実施。

※ 阪神北「ECO クリーン隊」は、「3世代による地域活動を実践する」「環境にやさしい方法として、地域の枯れ葉を集めて堆肥にする」「若い人が集まる都市部と一人暮らしが多く高齢化が進む農村とを結びつける」ことを目的としています。今後、各メンバーとともに、多方面にも呼びかけて活動の輪を広げたいと思っています。



8

こどもと地域の環境会議グループ

活動目標

こどもたちが地域との関わりの中で、環境問題を正しく学ぶ

活動内容

1. こどもの活動発表や大人の指導のあり方を互いに知り合う

阪神北・環境フェスタ 2009（ひょうご森のまつり）に、過去5年間の活動をまとめたパネルを展示しました。



2. 大人の環境に対する意識がこどもにどのように伝わっているか、その責任や自覚がどの程度かを会議などでの話し合いを通じて理解する

2009.11.1 川西市の国崎クリーンセンターにおける観察体験学習（木炭と地球環境、薪ストーブ、武庫川流域の生き物、里山保全活動など）に参加しました。

3. 未来を担うこどもたちに対する大人としての役割や、地域社会における生活態度のあり方をともに学ぶ

環境をテーマに募集した「夏休みエコ研究にチャレンジ」の優秀作品表彰式「きらっと☆北摂フェスティバル（2010.10.17 県立有馬富士公園）」に参加しました。

4. 地域社会から地球社会への課題を、実践活動を通じて話し合い、探求する

2011.2.26「阪神北こども環境夢サミット」開催にあたり、「教師のための環境体験学習会」等のセミナーを通じて様々な課題をこどもたちとともに追及しました。



こどもたちとともに学習しよう

- ① 良き生活環境：まちづくりや自分のまわりの問題の解決
- ② 社会での役割：社会活動とひとの暮らしの様子
- ③ 地球環境と自然：自然の変化、発展及び生物の存在意義（生物多様性）
- ④ 未来社会への指向：現在の社会から正しい方向への是正（地球温暖化防止）

活動目標

阪神北地域4市1町の「地域資源」を再発見し、その魅力に関する情報発信や、阪神南地域を含めた地域交流の促進を図る

活動内容

〈三田市地域〉

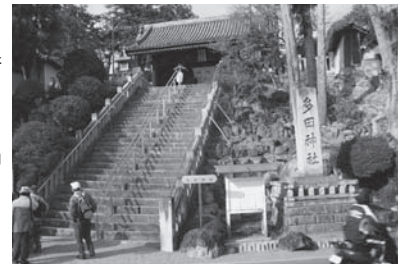
- ① 2009年9月12日
三田鉄道史講演会と
人と自然の博物館見
学
- ② 2010年9月19日
城下町三田探訪南北
交流



三田城跡

〈川西市地域〉

- ① 2010年2月26日
中央北地区意見交換
会開催
- ② 2010年12月5日
加茂遺跡から多田神
社へ



多田神社

〈宝塚市地域〉

- ① 2009年11月8日
宝塚各商店街探訪
- ② 2009年12月6日
西谷地区交流会開催
- ③ 2010年4月18日
田んぼアートでギフ
蝶再現
- ④ 2010年7月17日
武庫川峡谷探訪南北
交流



西谷交流会

〈猪名川町地域〉

- ① 2010年6月12日
木喰仏と彫刻の道



東光寺

〈伊丹市地域〉

- ① 2009年10月18日
伊丹台地と各商店街
探訪



伊丹緑道

〈阪神南地域へ交流参加〉

- ① 2010年8月24日
沿岸クルーズ南北交
流
- ② 2010年11月23日
尼崎探訪南北交流



沿岸クルーズ



明城小学校

活動の振り返り

各回、各地域担当制で地域密着型の企画運営を推進できた。阪神南との相互交流も数多く実現でき、新たな魅力発見につながった。また、念願の「活動記録の電子データ化による引継ぎ」も可能となり、今後のメンバーによる活用を期待したい。



シンボルプロジェクトグループ

活動目標

「育もう！地域の夢と未来、私たちの絆」

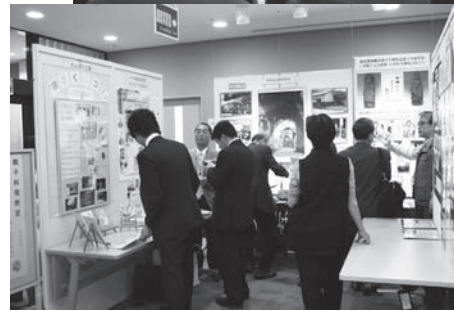
～WE♡阪神北～を合い言葉に…

活動内容



第5期のスタートの日に頂いた資料に、シンボルの活動とは【自らが住む地域の良さ、地域の人と人とのつながりの大切さの再発見を通じて地域への愛着を高め、「みんなで作る活力あふれる潤いの生活空間」の形成に向けて、地域課題に主体的に対応する潜在的な地域活動の担い手を発掘し、地域づくりに誘導する。】などと、難しいことが書かれていましたが、シンボルプロジェ

クトグループメンバー11名でわいわい意見を出し合っ
て、地域見本市のコンセプトとタイトルを決め、年に
一度の「地域見本市」を大いに楽しみました。



H 21 年度 11 月 15 日（日）三田市にて
H 22 年度 11 月 21 日（日）猪名川町にて

地域見本市が楽しい地域の文化祭に生まれ変わりました!!

- ① いろいろな世代の人が気軽に参加できる
- ② 来場者は勿論、運営する側も楽しめる、地域の文化祭・お祭り
- ③ 人と人のふれあいが、次につながる。絆（きずな）!!
- ④ 来た人が、次期ビジョン委員として参加したいと思ってもらえる
- ⑤ 阪神北地域のこと・魅力を知ってもらい、この地域を好きになってもらう



地域夢会議報告

ビジョン委員会活動の普及啓発など、活動の広がりに向けた取り組み

■ 夢会議の役割と位置付け

阪神北地域の望ましい将来像と取り組み方策を参加者全員で検討し、今後の地域でのビジョン活動や「阪神市民社会ビジョン」の点検・見直しに反映させる。

【第1回 阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム】

- テーマ：「語ろう夢を！地域を超え 世代を超えて」
開催日：平成22年3月7日（日）13：00～16：00
場所：大手前大学 いたみ稲野キャンパス（伊丹市）88名参加
内容：兵庫県企画県民部から「阪神北の未来 兵庫の未来」と題して今後の少子高齢化や環境問題、産業構造の変化等の課題について説明を受けたのち、「家族と家庭」「安全と安心」「生活と地域経済」「環境とエコ」の4テーマで意見交換を実施。学生も参加し、世代を超えた熱い議論と交流の場になった。



【第2回 阪神北地域夢会議】

- テーマ：「語ろう夢を！地域を超え 世代を超えて part II」
開催日：平成22年6月27日（日）13：00～16：00
場所：アピアホール（宝塚市）111名参加
内容：今回は新しい試みとして、近未来社会への警鐘をテーマにした「失われた一世紀」の寸劇で開幕となった。第1回に引き続き「家族と家庭」「安全と安心」「生活と地域経済」「環境とエコ」のテーマで話し合った。家庭の弱体化や過疎化の進展等、これからの課題について、熱い議論が交わされた。



【第3回 阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム】

- テーマ：「活かそう資源、ともに育てよう地域」
開催日：平成23年1月22日（土）13：00～16：00
場所：宝塚市立東公民館（宝塚市）102名参加
内容：阪神北の地域特性を、1ニュータウンをイメージした「様々なまちから移り住んできた住宅地」、2旧市街をイメージした「まちの伝統文化を守り続ける住民の地域」、3駅前住空間をイメージした「人が集まる商業地域の住空間」、4田園地区をイメージした「自然との共生、郷土の伝承を受け継ぐ住民の地域」にわけて、それぞれ地域固有の資源を活かしたまちづくりについて熱い議論を交わした。



全体活動報告

【全体会の開催】

- 第1回 平成21年5月10日(日) アピアホール(阪急逆瀬川駅前)
・井戸知事委嘱状の交付と全県、地域ビジョンの説明
- 第2回 平成22年3月27日(土) ぷらざこむ1(宝塚市売布東の町)
・阪神市民文化社会ビジョンの中間案承認と全グループの活動報告
- 第3回 平成23年3月26日(土) ぷらざこむ1(宝塚市売布東の町)
・阪神市民文化社会ビジョン原案の承認と全グループの活動報告



【企画調整部会】

原則毎月1回の開催とし、各活動グループの正副代表による会合を実施。各グループの月度活動報告をはじめ、阪神北ビジョン委員会全体、南北交流関連、市民文化社会ビジョン見直し等の議題を審議



【阪神南北地域ビジョン交流会】

平成22年4月から原則毎月1回交流会を開始。南北各グループの活動報告や地域夢会議・地域見本市に関する議題、南北相互協力による阪神市民文化社会ビジョンの点検・見直しを実施



【阪神市民文化社会ビジョンの点検・見直し】

「阪神市民文化社会ビジョン」は、市民や事業者、地域団体、行政などが参画と協働の理念のもとに取り組むための行動指針として、2001年(平成13年)2月に策定されました。そしてこれまで多様な活動が展開され、市民自らが地域の将来像を描き、その実現に向けて取り組んできました。しかし、策定以来、10年の年月を経て、人口の減少や少子高齢化など阪神地域を取り巻く環境が大きく変化し続けているなか、当初想定した2015年(平成27年)までの中間年を過ぎたことから、今回、2020年(平成32年)頃の地域社会を想定し、その見直しを行っています。



広報部会から

広報部会では、広報誌「夢じゃーなる」と「活動報告書」を発行しています。第5期ビジョン委員会がスタートして2年の節目に、夢じゃーなる21号と第5期活動報告書を同時にお届けします。「夢じゃーなる」は、グループ活動の紹介とイベント情報を主な内容とし、「活動報告書」は、委員会活動の全体をご報告します。

広報部会は、各グループから選出の広報部員で編成し、会議を重ねて編集・発行しています。いろんな意見を交換しながら、和やかに楽しく作業しています。

なお、第5期委員の任期が1年延長されますので、次年度の活動報告は、「夢じゃーなる」を通じて行う予定です。

広報誌の名称と発行年月

夢じゃーなる 17号	2009年 11月
夢じゃーなる 18号	2010年 3月
夢じゃーなる 19号	2010年 7月
夢じゃーなる 20号	2010年 11月
夢じゃーなる 21号	2011年 3月
第5期活動報告書	2011年 3月

① 多世代交流“じばヤング”グループ

【伊丹市】内堀 克子、狩野 勇(副代表)、津吉 宏江
西田 和子、濱口 彰
【川西市】九重谷 員子、多田 文子
【三田市】歳内 紀子、藤村 晴彦(代表)
【猪名川町】藤田 幸夫

② みんなでランラングループ

【伊丹市】木下 千鶴子、京の川みのり(代表)、前田 富代
【宝塚市】小椋 重保(副代表)、山内 一久
【三田市】森 恭之助

③ めだかグループ

【伊丹市】有賀 悦子(副代表)、高津 富男、高津 世季子
正岡 好郎(代表)、正岡 妙子
【宝塚市】坂野 千鶴子、佐藤 裕久、西山 良孝
【三田市】吉田 みち

④ 地域活動のしくみづくりグループ

【宝塚市】千秋 良雄、龍野 憲三(副代表)、西田 均
【川西市】大村 衣子(代表)、駒井 澄子、島田 巖夫
前田 俊彰
【三田市】前田 保和(副代表)
【猪名川町】川西 龍雄
【神戸市】松田 康之

⑤ 水グループ

【伊丹市】伊藤 忠徳
【宝塚市】金輪 剛、吉田 あい子、若月 令子(代表)
【川西市】秋山 英彦、田村 幹夫(副代表)、團野 隆
増田 寿男

⑥ みどりの環グループ

【宝塚市】竹田 勝視、長岡 堯、羽栗 清彦(代表)
平井 勝義(副代表)
【川西市】岡和田 賢十郎、仲 正義

⑦ らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

【伊丹市】浅香 知子、井上 喜代子、井上 富蔵
【宝塚市】馬場 清
【川西市】波多野 昭治(副代表)
【三田市】杉浦 靖明、谷口 昭広(代表)、原田 修平
山本 義則
【神戸市】岩崎 亮太、田中 大地
【尼崎市】谷口 善一
【西宮市】山東 章大
【篠山市】岡本 庚
【長岡京市】鈴木 陵

⑧ こどもと地域の環境会議グループ

【伊丹市】植松 良夫(副代表)、中村 一夫(副代表)
【宝塚市】梅脇 成公、岸 恭子、二井 久和
【三田市】永井 和男(代表)

⑨ であいたいグループ

【伊丹市】辻野 文三
【宝塚市】大原 愛、大矢知 俊雄、河原 圭子
坂本 一美、田村 博美(代表)、豊買 正道
中 義昭(副代表)、平野 浩太郎、三林 保子
【川西市】塩見 八郎、十河 紀一郎、原 尚弘
渡邊 キミ子
【三田市】小野 正彦、辰巳 弘継(副代表)
内藤 耕治、藤田 裕彦、山添 卓爾
【猪名川町】山本 秀和

⑩ シンボルプロジェクトグループ

【伊丹市】内田 勝雄
【宝塚市】石井 彰、西林 陽子(代表)、波田 剛(副代表)
三宅 三千男
【川西市】小林 美奈子、斯波 康晴(副代表)、吉岡 行廣
【三田市】福田 秀夫
【猪名川町】譚澤 三沙
【池田市】浅田 信利

役員 委員長：内田 勝雄 副委員長：内堀 克子、西山 良孝 企画調整部会副会長：中 義昭、西林 陽子
広報部会 部会長：増田 寿男 副部会長：多田 文子、有賀 悦子、三宅 三千男
部会員：九重谷 員子、森 恭之助、山内 一久、高津 世季子、正岡 妙子、千秋 良雄、駒井 澄子、團野 隆
竹田 勝視、長岡 堯、浅香 知子、井上 喜代子、梅脇 成公、岸 恭子、坂本 一美、辻野 文三
中 義昭、小林 美奈子、福田 秀夫

専門委員・アドバイザー・オブザーバー名簿

専門委員	アドバイザー	オブザーバー
芳田 茂樹 大手前大学 准教授	小西 康生 神戸山手大学 教授	小野 信江 伊丹市 政策室主幹
藤本 真里 兵庫県立大学 助教	中瀬 勲 兵庫県立大学 教授	坂井 貞之 宝塚市 政策室課長 (H21)
今井 一郎 関西学院大学大学院 教授	西浦 道雄 兵庫県国際農業者交流協会会長	土屋 智子 〃 (H22)
滋野 英憲 神戸国際大学 教授	中川 勝子 三田市いずみ会会長	石田 有司 川西市 政策課長
	住井 一代 第4期阪神北地域ビジョン委員会委員長	北中 耕作 三田市 企画政策課長
		土井 裕 猪名川町 企画財政課長

2011年3月

発行：兵庫県阪神北地域ビジョン委員会

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15

兵庫県阪神北県民局総務室地域企画課

TEL 0797-83-3117 FAX 0797-86-4379